

年 組 名前：

山頂めざすヒキガエル

福岡 数万匹一斉、理由は謎

福岡県太宰府市と筑紫野市にまたがる宝満山(829㍎)でこの時期、1㍎弱のヒキガエルの子ども数万匹が、頂を目指しひたむきに山を登っている。天敵に襲われる恐れがある中、なぜこうした行動を取るのかは不明だ。昨年、太宰府市の市民遺産に認定。「登山カエル」を目当てに訪れる人も増えている。

「宝満山ヒキガエルを守る会」によると、麓の池でふ化し、毎年5月中下旬ごろから、人も利用する登山道に沿って一斉に登る。頂上まで約2・5㍎、標高差は約600㍎。30㍎40日かけ、頂上にたどり着くのは数百匹とみられる。

子ガエルにとっては試練の連続だ。天敵のヘビやアリだけではない。人に踏まれたり、林道で車にひかれたりする危険もある。梅雨時は雨に流されて側溝に落ち、登山者が差し入れた葉っぱや枝にしがみついたり、はいい上がる姿も見られる。

2016年から観察を続ける佐賀大の田中明名教授は「こんなケースは他で聞いたことがない」。カエルはおいで他の個体を追うことがあるとし「登山者の靴に付いたカエルのにおいにつられていのかもしれない」と可能性を挙げるが、真相は分からない。

守る会は、カエルへの配慮を呼び掛ける看板を登山道に設置。森田正嗣事務局長は「子ガエルの命懸けの挑戦を温かく見守ってほしい」と話している。

(2021年6月25日付 山梨日日新聞18面)

問1

福岡県の「A山」では毎年この時期、ヒキガエルの子ども「B匹」が、「C」を目指しひたむきに山を登ります。太宰府市は昨年、このカエルたちを「D」に認定しました。A～Dに入る言葉や数字は何ですか。

① 「 山」 ② 「 匹」 ③ 「 」 ④ 「 」

問2

ヒキガエルの子どもは体長1㍎弱で、頂上までの距離は約2・5㍎、標高差は約600㍎あります。身長1・4㍎の人間の小学生に置き換えると、頂上までの距離、標高差はどれくらいになりますか。計算してください。

距離 「 ㍎」 標高差 「 ㍎」

問3

山頂を目指す理由は専門家にも分からず本当に不思議です。下記の中から、不思議と同じような意味を持つものに○を付けてください。

「 」 奇妙 「 」 不可避 「 」 きてれつ
 「 」 奇才 「 」 不可解 「 」 謎めいた